

こども探検隊便り

3月の探検隊は「江川せせらぎ散策」

3月のこども探検隊 小川のせせらぎの音を聞きながら、春の息吹を探して歩きませんか。江川は新城から井田にかけての約2.4kmで、まちの方々から愛されている癒しの遊歩道です。ここには湧水、桜のプロムナード、清流やあぜ道、河原の道などがあります。

日時：3月19日(土)朝9時30分集合(電車で江川せせらぎに向います)

場所：エリマネ事務所前に集合

参加費：ひとり100円(保険費)、交通費は各自負担

持ち物：お弁当、飲み物、レジャーシート

申込締切：3月18日(金)

*原則保護者同伴 *井田バス停近くで現地解散



2月19日 探検隊はお菓子で作るおひな様+プチひな祭りでした。

ちょっと小さな交流

3月は「みんなで企画を考えてみよう」

3月 小さな交流会は、「みんなで5月以降の交流会の企画を考えてみよう」です。ご近所さんのお話を聞き、アイデアを出しながら、身近でみなさんの関心のあること、ちょっと楽しく、面白い企画などを気軽に話合しましょう。

2月11日 ちょっと小さな交流会は、太極拳の先生をお招きしました。姿勢を正し、上手な身体の使い方や、肩こり対策などの実習の後、いつもの懇談と小グループに分かれてのおしゃべりタイムでした。



正しい動作の実践

地元チーム・フロンターレを応援しよう!!

武蔵小杉駅から徒歩15分の等々力緑地内にある『等々力陸上競技場』をホームスタジアムとする市民クラブ「川崎フロンターレ」。

2011年シーズンがいよいよスタート!新監督、新加入選手9名を迎えた新生フロンターレ。『相馬直樹新監督』は現役時代、鹿島アントラーズ、日本代表、フロンターレのJ1昇格などで活躍し、昨年、監督就任1年目でJFL『町田ゼルビア』を大躍進させた注目度No1の若手監督。選手では昨年まで横浜F・マリノスで10番を付け、フロンターレキラーで鳴らした山瀬功治や、昨年アジア大会の決勝で決勝点を挙げるなど活躍した實藤友紀が加入。開幕戦は、3月5日(土)山形戦。会場は家族みんなで楽しめるイベントもいっぱい。是非、皆さんで等々力にお越し下さい!

◆◆2011年川崎フロンターレ後援会募集中!◆◆

川崎フロンターレのファンクラブ組織「川崎フロンターレ後援会」は2011年度会員の募集中。試合観戦するならまず入会するのが一番お得!特典の無料招待チケットは開幕戦以降の3~4月の試合は観戦できるのでとにかく、まず入会して観戦してください。会員なら試合会場での選手と触れ合える会員限定イベントが盛りだくさん!入会を希望される方は右のQRコードから!皆さんのご入会、お待ちしております!

お問い合わせ:044-739-6070 ※受付9:00~17:00(平日)

◆◆川崎フロンターレ試合日程・等々力(3月)◆◆

3月5日(土) モンテディオ山形15:00 kick off

3月19日(土) アビスパ福岡13:00 kick off

3月26日(土) ヴァンフォーレ甲府16:00 kick off ナビスコ

チケットのお求めはお近くのローソン内Loppiどうぞ!

お問合せ先:TEL.044-829-3011(受付10:00~18:00平日)

ホームページ: <http://www.frontale.co.jp>

◆◆フロンターレよりチケットプレゼント!◆◆

3月19日(土)アビスパ福岡戦に、抽選で月刊エリアマネジメント読者限定10組様をご招待!お申込は電話044-433-9180に3月14日(月)午後4時まで。



相馬直樹監督



山瀬功治



實藤友紀



中村憲剛

マンション記事

第1回<コスギタワー 防災活動の紹介>

(ザ・コスギタワー管理組合の山中理事長にお聞きしました。)

コスギタワー防災委員会では、大地震に備えるために何をすべきかについて検討を重ねてきました。超高層マンション特有の課題に対しどのように対応するかを考え、現在災害時対応マニュアルを作成中です。

個人で実施すること、管理組合として組織的に助け合うことを整理してきましたが、どこまで現実的に実施できるのか、住民の皆さんとともに考えて行くために3月に防災セミナーを開催します。その後5月~6月頃にはマニュアルに沿った防災訓練も行う予定です。

セミナー(企画) ※参加対象はコスギタワー住民

第1部大地震発生!その時私たちはどうなる?

超高層マンションで大地震が起こった時に深刻な問題は何か

第2部大地震発生!その時私たちはどうする?

(対策案の説明)

- 1) 事前準備
- 2) 大地震時の行動
- 3) 安否確認方法
- 4) 自宅での被災生活



また、防災上地域で取り組む課題については、NPO小杉エリマネとも連携して検討を進めています。

災害に強いマンション、災害に強い街を目指して、多くの住民の皆さんとともに活動していきたいと思っています。

中原街道29

昭和46年に発行された「中原街道小杉から久末までをたずねて」を参考とした歴史研究を基礎に掲載しています



用水工事を監督する小泉次大夫の様子

小杉陣屋と小泉次大夫 二ヶ領・六郷用水の 工事と米の増産(2)

小泉次大夫は、用水の流路の決定に当たって、できるだけ自然条件に逆らわず、古い流路や蛇行の跡を利用したり、夜になると「かがり火」をたいて、用水の高低を測ったりするなど多くの苦心を払いました。

こうして、完成まで十四年という長い年月を要する非常に難しい工事となりましたが、次大夫は、この用水工事を促進するために陣屋を設け、用水工事全体の指揮監督にあたり、この用水の完成により、米の収穫量は飛躍的にのびていきました。

現在では、用水の総延長は三二キロメートルで、川崎市のほぼ全域を流れる神奈川県下で最も古い人工の用水となっています。

そして、小杉の陣屋は小泉陣屋、後に、「小杉陣屋」と呼ばれ、現在の地名「小杉陣屋町」につながっています。

また、陣屋は役所機能として、周辺の幕領支配の拠点でもあり、陣屋と御殿が併存し、これらが相互補完して、地域支配を強化していました。

次大夫は、安房(千葉県)小湊の妙本寺の、日頃尊敬していた僧・日純を招き、陣屋の裏の多摩川べりに妙泉寺を建立し、工事完成を祈念しました。妙泉寺本堂は工事完成後移設されました。

今も、西丸子小学校前にある、妙泉寺観音堂の脇には小泉次大夫の碑が残されています。(2月1日号の中原街道27は28の誤りです、謹んでお詫びし、訂正致します)



小泉次大夫碑の裏側